

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2014/10/30

第 14 号

ほぼ全ての県本部に退職者組織が結成されたことを確認！

シニアクラブ第 3 回総会を開催（10/23）

基幹労連退職者の会第 3 回総会が、10 月 23 日（木）静岡県熱海市において、総会構成員である 35 県本部中 33 県本部の退職者組織の代表、シニアクラブ本部役員に加え、来賓、基幹労連中央本部役員、38 の県本部事務局長の参加を得、合計約 100 名で盛大に開催されました。



総会では、大阪府本部退職者の会の林会長を議長に選出、宮園会長からは「本日の総会を実質的にスタートの年と位置づけて活動を推進したい」との挨拶がありました。来賓として、基幹労連を代表して工藤新委員長、退職者連合の羽山事務局長、とどろき利治参議院選挙組織内候補から、連帯と激励の挨拶をお受けしました。

総会の審議では、昨年 9 月 15 日第 2 回総会以降の活動経過と決算・監査の報告承認を受けるとともに、2015 年度の活動計画と予算を満場一致で決定しました。活動計画の特徴点としては、①全国の退職者組織がほぼ結成できたことを踏まえ、今後は一層、活動の充実を図っていくこと、②退職者連合の地方活動に対しても各県の実情に即した内容で連携していくこと、③各種選挙に基幹労連と連携した取り組みを進めること、とりわけ 2016 年 7 月の参議院比例代表選挙の「とどろき利治」氏の選挙完遂に向けて取り組むこと、などです。役員の補充・交代選任では、新たに米内顕二氏（三菱重工労組）を幹事に選任しました。また、総会では各地方ブロックを代表して 6 つの県本部退職者の会から、それぞれの活動報告が行われました。



大阪・林議長

本総会が本格的スタートの年

宮園会長の挨拶（要旨）

昨年 4 月、22 の県本部退職者組織でスタートしたシニアクラブ。38 の県本部全てに退職者組織を結成することを最優先課題として、活動を推進してきました。その結果、現時点で 35 の県本部が退職者組織を有するまでに至り、11 月には対象者が極めて少ない山梨を除く 37 全ての県本部退職者組織をもって構成することになりました。



ここに至るまでの皆様方のご尽力に心から感謝申し上げます。形はできました。組織の拡充、活動の強化、シニアクラブ全体の連携強化など、中身をどう充実させていくかがこれからの課題です。本日の第3回総会を基幹労連シニアクラブのスタートと位置づけて、各退職者組織と十分連携をとりながら、組織体制・活動の拡充・強化を重点課題と位置付けて活動を推進していきたいと考えております。

生き活きと安心して暮らせる社会の実現をめざして

超高齢化が急速に進展する下で、私ども高齢者の生活は厳しさを増し、「年金で悠々自適の生活ができる」と言われていたかつての状況とは大きく異なり、課題は山積しています。退職者連合は、「生き活きと安心して暮らせる社会の実現」を運動の柱に据え、300万会員実現を目指した組織の拡大・強化などの取り組みを進めています。退職者・年金生活者・高齢者のパワー結集といった観点からも、中央・地方の退職者連合の一組織として、その役割・責任を果たしていかなければなりません。

あわせて、政策課題の実現や各種選挙の取り組みにも力を入れていかなければなりません。来春の統一地方選挙には、それぞれの実態に即し、現役と十分連携を取りながら、各県本部や構成組織の推せん候補者全員の当選を果たしていただきたいと思っております。

「オール基幹労連」の組織力が問われる参議院「とどろき利治」選挙

基幹労連は、9月の定期大会で、2016年7月の参議院選挙「比例代表」に、捲土重来を期して「とどろき利治」さんを擁立することを決定しました。逆風の中で取り組んだ前回の選挙と同様に、厳しい状況が想定される中での決断であるだけに、現役の皆さん方の決意の程が伺われます。まさに、基幹労連として負けれない選挙であると同時に、私どもOB・退職者も含めた「オール基幹労連」の組織力が問われる選挙であります。

こうした選挙の取り組みなども含めた政策の実現のためには、組織拡大や活動・運営の充実、ひいては組織力の強化が不可欠であります。

シニアクラブの組織運営や活動に対する、各県本部退職者組織の皆さん方のご理解・ご協力、現役の皆さん方のご支援・ご指導をお願いいたしますとともに、会員の皆さん方の今後益々のご健勝を祈念申し上げます。

基幹労連工藤委員長の挨拶（要旨）

参議院議員選挙完遂、労働法制改悪阻止に全力

シニアクラブの皆様には基幹労連の活動にご支援をいただき、感謝申し上げます。基幹労連第7期活動の最重要課題は2016年参議院選挙である。組織の誇りをかけて「とどろき氏」を擁立し、絶対に負けれられない選挙と腹をくくっている。退職者の会の皆様の力を是非とも貸していただきたい。



今、安倍内閣において労働法制の改悪の動きがある。先輩皆様は「鉄冷え」「造船不況」などの時代を、労使が話し合いながら課題を解決し、時には労働条件を切り下げながらも、技術を残す、人を活かすことを大切にされた。今の動きは人を簡単に換えられる制度だ。ものづくりはそんな簡単なものではない。企業側も同じであろう。連合と呼応して今国会審議未了に追い込みたい。

退職者連合の羽山事務局長の挨拶（要旨）

退職者連合300万会員をめざして組織改革

3. 11から3年7カ月。復興は遅々として進まず、被災地のことが忘れられていく。福島のことまで忘れてはならない。

高齢者に対する年金、医療、介護の改悪の動きがある。介護保険は残念ながら国会を通過し、年金額の引き下げ、医療費の負担増が進められている。安倍政権では民意が反映されない。労働法制の改悪で社会保障の担い手となる人たちがいなくなる。基幹労連シニアクラブの結成は大変心強い。退職者連合は2020年に向けて300万人会員目標とし、存在感ある組織をめざしている。そのために組織加入していない人たちも加入できるように組織のあり方を見直していく。



2016年7月参議院選候補予定者「とどろき利治」氏より力強い決意表明

退職者の会の皆様の絶大なご支援を！

基幹労連の定期大会で次回参議院選挙の組織内候補として擁立を決定していただき、心から感謝し、身が引き締まる思いである。

国民の一番の関心事は社会保障の充実、安定である。そのために国会議員自らが定数削減をする約束で消費税の増税もお願いしてきた。しかし、安倍政権では社会保障の議論も定数削減の議論もできていない。労働法制の改悪で、生涯派遣、200万円以下の低収入が続くことになる。

2016年7月まで、全身全霊、全てをかけて頑張り抜いていきたい。退職者の会の皆様の絶大なご支援をお願いする。



発言をいただいた各県代表者



（左から、長野・平澤氏、秋田・熊谷事務局長、兵庫・松浦副代表、富山・高藤会長、広島・中村会長、神奈川・真木会長）

派遣法改悪阻止！連合「怒りの国会前座り込み」行動に参加

「生涯派遣」で「低賃金」はごめんだ

連合が取り組む「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン行動に、基幹労連シニアクラブとしても参加しています。

10月29日に連合が国会前座り込み行動を実施しました。現在開催中の臨時国会に「労働者派遣法改悪案」が再上程され、国会での審議が開始され



ています。社会保障の安定のためには、何としても派遣労働や非正規労働などの不安定雇用をやめさせることが重要です。こうした立場から退職者連合は連合とともに改悪法案阻止に向けて取り組んでおり、基幹労連シニアクラブとしても基幹労連、退職者連合と連携してできる限り協力していきます。各県本部においても、同様の趣旨での取り組みが展開されると思いますが、ご支援、ご協力をお願いします。

～ 核兵器廃絶 1000万署名にご協力をお願いします ～

連合、退職者連合等の呼びかけに応じて、シニアクラブとしても署名活動に取り組むことを10月23日の第3回総会において正式に確認しました。

県本部ルートで行いますので、県本部事務局長にはお世話をお掛けしますが、ご協力をよろしくお願いします。

1. 名称 「核兵器廃絶 1000万署名」
2. 呼びかけ 連合、原水禁、核禁会議、退職者連合
3. ねらい 2015年4月にニューヨークの国連本部で開催される核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議に合わせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、唯一の被爆国民として私たちの願いを日本政府と国連に届けるためです。
4. 活動 2014年11月～12月末日
5. 提出先 国連および日本国政府
(基幹労連→退職者連合経由)
6. 取り組み シニアクラブとして、基幹労連と連携して組織的に取り組みます。
県本部ルートで行います。
7. 目標 各退職者の会の組織人員



核兵器廃絶1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う被爆国・日本国民の心からの叫びです。しかし、核兵器は未だに世界に約7,500発も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。
核兵器不拡散条約（NPT）とは、核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを主な目的とした条約であり、核兵器の不拡散、核軍縮の促進、原子力の平和利用の推進をめざしています。
連合、原水禁、KAKKINは、5年に1度開催されるNPT再検討会議にあわせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、世界で唯一の被爆国である私たちの願いを、日本政府と国連に届けます。
核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、「核兵器廃絶1000万署名」へのご協力をお願いします。

連合・原水禁・KAKKIN

「核兵器廃絶1000万署名」については <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>